

働く男のライフスタイル情報紙

Biz [ビズスタ] Life Style 特別版

2018 12

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、
京都、仙台、福岡、広島、岡山にて68万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

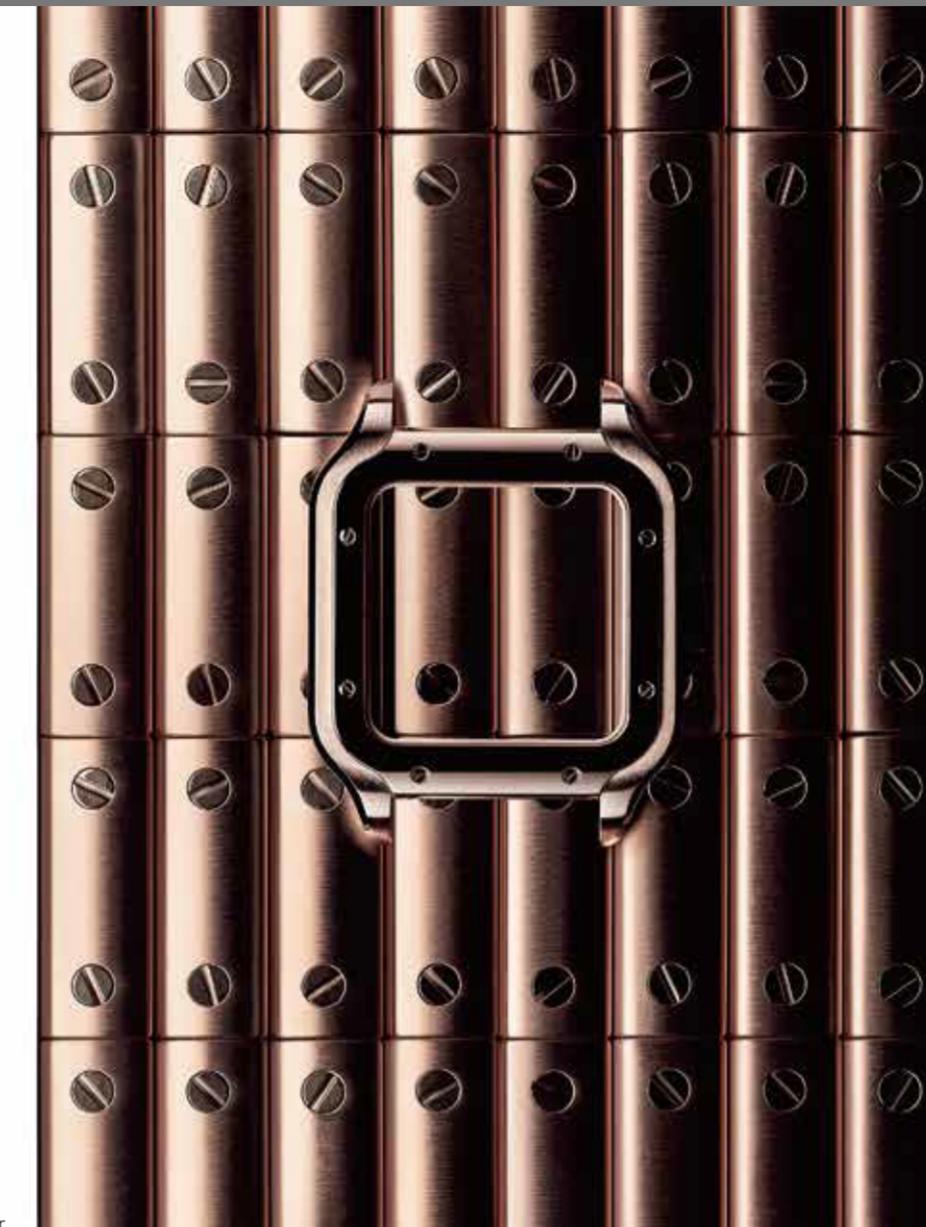
広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005
企画・制作／株式会社ディリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2018 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



それは、革新的な発想。カルティエ。



Eric Sauvage © Cartier



Eric Sauvage © Cartier

腕時計の歴史は、このコレクションから始まった。

手元で現在時刻を確かめるだけであれば、それこそスマートフォンで代用できる時代。だが、本物を見分けるだけの知識を持つ大人たちは、時を知る方法にも「美」を求める。

その昔、外出先で時を知らせるのは、懐中時計の役割だった。それを手首に巻きつけ、知性と感性、美への意識を雄弁に表現できるアイテムへと昇華させたのは、「このメンズ」だ。

1847年、パリで創業した「カルティエ」は、20世紀初頭には各国王室に出入口するジョーリームソンとして栄華を極めていた。時のイギリス国王エドワード7世をして「王の宝石商、宝石商の王」とまで言わしめた成功を収めながら、実はこの時期に、時計史に燐然と輝く金字塔を打ち立てている。

誕生から100年以上もつづく腕の顔であり続けるサン

タンド

最新コレクションが到着

カルティエが腕時計というスタイルそのものを開拓した理由については、有名な逸話が残っている。1904年に完成したレザーストラップ付きのウォッチ「サンツ」は、その名の通り、発明家で著名な飛行家人、アルベルト・サンツ＝デュモンに捧げられたのだ。「操縦しながら時刻を確認したい」という素朴な希望を受けたカルティエ本人が、腕に着けたことを前提とした時計を着想し、「デザインしたのだ。特別に製作された腕時計」は、後に「サンツ・ドゥ・カル

发表舞台となっていた見本市、S.I.H.H(通称ジユネーフサロ)。カルティエは、この特別な展示会毎年のように話題を独占している。今年もこの1月に開催されたのだが、初日から会場内の注目を一身に浴びたのが、何を隠そうサンツ・ドゥ・カルティエの最新コレクションだった。

だが、とうの昔に「完成」の域に達しているサンツ・ドゥ・改良の余地など残されていないのか。新作の情報を耳にするたびにそう思うが、今回も想像を絶する美が構築されていた。

サンツ・ドゥ・カルティエの最新コレクションでは、それに加えてケースからストラップへ流れる独特のラインに手が加えられた。

より細やかに、より力強く
相反する要素を両立する力

幾何学的な美を内包した正なフォルム。ベゼルを飾る8本のビスが表現する構造的で建築的なイメージ。サンツ・ドゥ・カルティエの特徴的な余地など残されていないのか。新作の情報を耳にするたびにそう思うが、今回も想像を絶する美が構築されていた。

時代に先駆けてレザーストラップを持ち込んだサンツ・ドゥ・カルティエは、その名の通り、腕に着けるモダンウォッチとして誕生したサンツ・ドゥ・カルティエの役割を担ってきた。新コレクションでは、加えてアレンジの面で新たな地平を切り開く。

「カイウクス・スイチ」は、ステンレススチールやゴールド、カーフレザー、アリゲーター、ヒツジ革などさまざまな素材のストラップを自由に交換できるように開発された独自機構だ。ケース自体の構造に組み込まれており、ストラップ裏をつなげ、フレームをアレンジできる意欲的な技術だが、これらがストラップのオーバーラップであるサンツ・ドゥ・カルティエに導入されたことは歴史的な意義を感じる向きが多い。ジャーナリストやコレクターたちが集まるS.I.H.Hが沸いたことは、理由があったのだ。カルティエは毎年、後に名品と呼ばれるモデルを送り出し、毎年未来を予感せてくれる。

Santos de Cartier

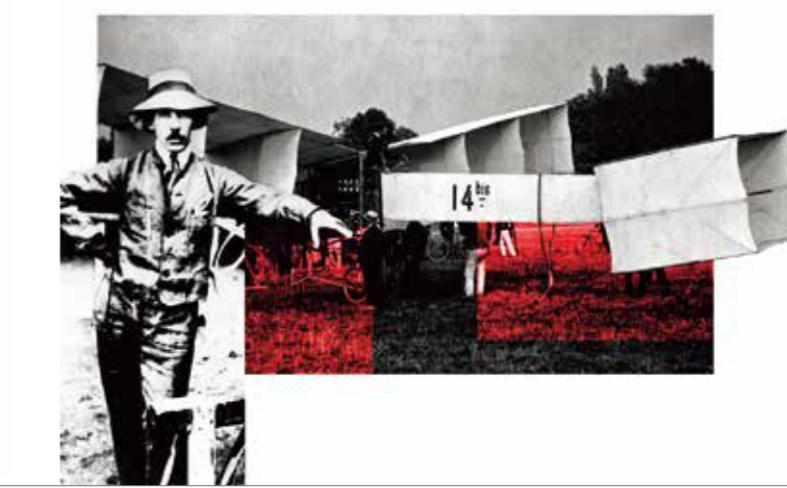


サンツ・ドゥ・カルティエ
CRW2SA0007
MMモデル(35.1×41.9mm)
イエローゴールド、スタイル
1,058,400円(税込)

サンツ・ドゥ・カルティエ
CRWSSA0009
LMモデル(39.8×47.5mm)
スタイル
799,200円(税込)

サンツ・ドゥ・カルティエ
CRWGSAA0011
LMモデル(39.8×47.5mm)
ピンクゴールド
2,397,600円(税込)

サンツ・ドゥ・カルティエ
CRWGSAA0007
LMモデル(39.8×47.5mm)
ピンクゴールド
4,352,400円(税込)



母国・ブラジルではリオデジナエロの空港の名に、フランスのパリではストリートの名に、そして月ではクレーターの名に、宇宙開発プロジェクトではミッション名に。1897年に気球での飛行に成功し、1907年には飛行機の前身を発明したアルベルト・サンツ＝デュモンは、航空界のパイオニアであると同時に自身の研究成果を無償で提供した篤志家でもあった。1904年に友人のルイ・カルティエが生み出した「サンツ」は、腕時計業界に革命をもたらした。

「カルティエ」として製品化され、懐中時計を取り出す面倒から人々を解放することになる。

まさに社会のあり方を変えた

エポックメイキングな腕時計となつたわけだが、それだけでは終わらなかった。サンツ・ドゥ・カルティエは、今も同社を代表する「コレクション」のひとつであり続いている。何とオリジナルの誕生から100年以上が経った今も新作が発表されている。

ティエ」として製品化され、懐中時計を取り出す面倒から人々を解放することになる。

まさに社会のあり方を変えた

エポックメイキングな腕時計となつたわけだが、それだけでは

終わらなかった。

カルティエは、今も同社を代表する「コレクション」のひとつであり続いている。何とオリジナルの誕生から100年以上が経った今も新作が発表されている。

終わらなかった。

My Favorite Life Style



パンテール ドゥ カルティエ
CRW4PN0008
MMモデル(27×37mm)
スティール、ダイヤモンド
993,600円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRW2PN0007
MMモデル(27×37mm)
イエローゴールド、スティール
896,400円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRWGP0006
SMモデル(22×30mm)
ピンクゴールド
2,214,000円(税込)



パンテール ドゥ カルティエ
CRWJPN0015
SMモデル(22×30mm)
イエローゴールド、ダイヤモンド
2,624,400円(税込)

© Cartier

Panthère de Cartier

80年代の名作が突如甦る!
世界が驚いた新作コレクション

「カルティエは毎年のようにS.I.H.H.の耳目をさうといふ」という表現は、決して誇張ではない。今年は「サンントス・ドゥ・カルティエ」の話題でもちきりだったS.I.H.H.だが、1年前の同じ会場で賞賛を一身に集めたのもやはりカルティエの名「レクション」の新作だったのだ。

昨年のS.I.H.H.の「ユースとなつたパンテール・ドゥ・カルティエは、ある意味では今年のサントス以上に衝撃的に映つたかもしれない。と言うのも、やはりレディースウォッチの歴史に残る名作でありながら、長らく新作が発表されていなかつたのが、突如としてその沈黙を破つたからだ。

ひとめでその美貌が分かるフエミニンなデザインは、世界的にファッションカルチャーや花開いた1980年代の活気を表現したものだ。時代の空氣感を見事に描いたこのコレクションも、ストラップ部分が非常に特徴的だ。もともと時計とジュエリーは近しい関係にあるが、宝石やブレスレットと完全に溶け合うような官能的な美にまで引き上げたウォッチデザインは、カルティエの最高峰のひとつと言えるものだ。

セレブリティたちを中心とした女性たちにとっての自己表現のシンボルとなつたパンテールは、その鮮烈な時代性ゆえに流行の最前線で語られ、次の時代へとバトンを継いだ。だが、この新生パンテール・ドゥ・カルティエは、サントスをはじめとする同社の各コレクションと同様に「タイムレス」であることを証明した格好となつた。

さらに美しく磨き上げられたエッジで現代性を表現しつつ、しなやかなリンクのブレスレットで優美な魅力を振りまく、ジュエリーとしてのタイムピース。フォーマルにもカジュアルにも対応可能で、美意識と言うよりも「人の女性としての精神性まで描くような複層的な美」。その世界観の構築力には「さすがにカルティエ」とため息をつくしかない。

オリジナルモデルが発表された時代から人間社会は大きくな変貌を遂げたが、この新たな時代にも、変わらず「女性の美」を贈りたい。そんな同社の想いが明確に表現された注目コレクションと言えるだろう。

* * * *

Biz Life Style Pick up >>>

大府市・共和駅前の「宝石の八神」にて、カルティエフェアを開催。クレジット最大100回まで金利手数料無料のキャンペーンも実施。



HASSIN
WATCH & JEWELLERY

宝石の八神

愛知県大府市共和町3-8-9 TEL.0562-48-8811
営業時間／10:30～19:30 ※元旦～3日は17:00まで
(12月25日臨時営業、12月31日のみ休業、4日以降通常営業)、火曜定休

大府市のJR「共和」駅前に位置し、実際に40以上にも及ぶ世界の一流ブランドの正規販売店を務める「宝石の八神」。同店では、12月22日(土)から来年1月5日(土)まで、カルティエフェアを開催。充実のラインナップに加え、期間中のみの特別サロンも設置されるので、多彩なコレクションを手に取ってじっくりと検討できる。

なお、フェア期間中は、クレジット購入時に最大100回まで金利手数料が無料になるお得なキャンペーンも実施。名古屋南ICからのアクセスも良く、30台分の無料駐車場も完備。この時期ならではのキャンペーン、どうぞお見逃しなく。



取り扱いブランド
カルティエ、ロレックス、ウブロ、パネライ、IWC、ハリー・ウィンストン、クストス、ブルガリ、ロジェ・デュブイ、シャネル、ブルガリ、オメガ、タグ・ホイヤー、グランドセイコーほか

www.hassin.co.jp

カルティエ カスタマー サービスセンター

フリーダイヤル 0120-301-757

受付時間／10:00～20:00 無休(年末年始を除く)

www.cartier.jp